

心臓穴閉じ片頭痛改善

来月
から
岡山大、国内初の治療

岡大病院（岡山市北区 うち40〜60%の人が、心臓

鹿田町）は21日、片頭痛患 内部の壁に、通常は出生後、

者に対し、心臓の小さな穴 自然に閉じる卵円孔と呼ば

をカテーテルを使ってふさ れる1〜2ミリの穴が開いた

ぐことで、症状を改善させ ままになっており、病気と

る新しい治療を6月から行 の関連が指摘されてきた。

うと発表した。片頭痛は薬 治療は、太ももの静脈か

物療法が中心で、今回の治 らカテーテルを入れ、先端

療法は国内で初めてとい に付けた二つの傘状の閉鎖

う。 栓（金属製、直径2ミ）を

循環器疾患集中治療部の 患部で開き、両側から挟ん

赤木禎治准教授らのグルー で穴を閉じる。時間は30分

プによると、片頭痛患者の 1時間で身体への負担も

少ないという。

従来、脳梗塞の再発予防

に用いられる方法で、同病

院では卵円孔や、より大き

な穴が開いて重篤な心房中

隔欠損症で、昨年までに治

療した38人のうち、片頭痛

のあった19人中18人が症状

の消失や改善があったと回

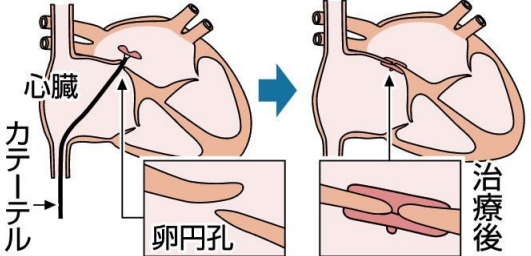
答した。海外の研究でも有

効との報告があるという。

閉鎖栓を使った治療は研

究目的としては実施可能だ

卵円孔を閉じるカテーテル治療のイメージ



人が対象。ただ、同病院は「全ての患者に効果が出るわけではない」とし、健康保険が適用されず、入院費を含め約130万円が自己負担となる。

片頭痛は国内で成人の8・4%が発症し、患者数は840万人と推定。日常生活に支障を来すケースもあり、多くの人が苦しんでいるとされる。

グループの高谷陽一医師（循環器内科）は「有効性を確認し、（保険診療と併

用できる）先進医療へとつなげたい。片頭痛のメカニズム解明にも寄与できれば」と話した。（伊丹友香）